

令和8（2026）年度

九州大学大学院生物資源環境科学府修士課程一般入試第2次

資源生物科学専攻 農業生物科学教育コース

入学試験問題

専門科目（専門・専門基礎）：園芸学研究分野

受験番号： \_\_\_\_\_

問1. 次の4つの用語について、具体的に説明しなさい。（40点）

- (1) 遺伝的浮動
- (2) 誘導（動的）抵抗性
- (3) 作型
- (4) NFT (nutrient film technique)

問2. 「接ぎ木」を行う目的の一つは「繁殖」であるが、それ以外にどのような目的で行われるかを具体的に説明しなさい。（20点）

問3. 園芸作物における高次倍数体の特徴とその園芸的利用について、具体的に説明しなさい。（20点）

問4. 園芸作物におけるDNA多型の利用例について、具体的に説明しなさい。（20点）

注意その他：

- ・問題用紙と解答用紙は別紙とします。
- ・問題用紙は解答用紙とともに回収します。
- ・次ページに解答用紙を示します。

令和8（2026）年度 資源生物学専攻 農業生物学教育コース専門科目

令和8（2026）年度

九州大学大学院生物資源環境科学府修士課程一般入試第2次

資源生物学専攻 農業生物学教育コース

入学試験問題

専門科目（専門・専門基礎）：園芸学研究分野

解答例

問1～問4.

いずれも論述形式であり、定まった解答がないため「非公表」とする。

令和8（2026）年度

九州大学大学院生物資源環境科学府修士課程一般入試第2次

資源生物科学専攻 農業生物科学教育コース

入学試験問題

専門科目（専門・専門基礎）：園芸学研究分野

出題意図

- 問1． 園芸学分野で研究するために必要な、園芸植物の多様性、生理生態、栽培に関する基礎的知識を問う。
- 問2． 園芸学分野で研究するために必要な、栽培技術に関する専門的知識を問う。
- 問3． 園芸学分野で研究するために必要な、園芸植物における倍数体の利用に関する専門的知識を問う。
- 問4． 園芸学分野で研究するために必要な、園芸植物の遺伝育種や多様性評価に関する専門的知識を問う。